

# 共栄火災に息づくパイオニア精神

## ゴルフ保険を日本で初めて発売したのは共栄火災です。



ゴルフの華といったら、「ホールインワン」。アマチュアの場合、その発生する確率は、2000～3000ラウンドして1回ぐらいの確率と言われています。誰も、あこがれる「ホールインワン」ですが、実際にホールインワンをすると、まず喜び、そして顔面蒼白となる場合も多いのではないのでしょうか？

日本独特の習慣として、ホールインワンをすると、同じ組のプレーヤー、キャディーさんにも記念品を贈呈したり、数十万円単位での出費となることがあります。この「ホールインワン特約」を商品として世に送りだしたのが共栄火災です。



っていました？

## 保険料自由化の先駆けとなった商品！？

発売当初は、当社が認可第一号であったため驚くほど大きな反響を呼びました。テレビをはじめ大手中央新聞紙はもとより、スポーツ紙・地方紙に至るまで広くマスコミに取り上げられ、広告賞にも輝きました。

ホールインワン保険は、従来の全社同時認可ではなく、料率も認可日も保険会社ごとに異なります。特に料率は各社の実績を反映した結果、付加率に差を生じ、保険料水準も区々となったさきがけの商品です。

## 積立火災保険を日本で初めて発売したのも共栄火災です。

建物更新総合保険

まもるくん



1963年（昭和38年）11月に積立保険のパイオニアであるタテコー保険が発売されました。その後、タテコー保険の後継商品としてまもるくん（建物更新総合保険）が開発されました。まもるくんは、1991年の発売以来、様々な商品改訂を行い進化を遂げてきました。